

「DX推進！業務知識／業務連携知識講座」 募集

厚生労働省 人材開発支援助成金対象講座

この講座で習得できることは

(注)

3日間12時間の講義と1年間の大先輩SEからの助言で

現場の要件が理解出来る

「業務知識／業務間の連携知識」の習得講座

(注)大先輩SEとは、今回の講師で1年間、ご質問に助言します



現場の要件が
理解出来ない

業務連携
知識の習得

現場が理解出来る



講座カリキュラム

日時：2026年4/21・4/28・5/12（火曜日 13時～17時 3日間）

1 回 目	<p>キックオフ DX推進のための業務知識とデジタル技術習得</p> <p>①管理技術に気付く（DX実現の前提条件） ②業務再構築（BPR）で得られる利益の金額 ③「業務」の生い立ちと分業単位を知る！ ④受注出荷 ⑤生産計画 ⑥資材計画の 業務知識&業務間連携とデジタル技術概要</p>	<p>①塾の学び方（質問カード・補講・質問シート使用法） ②「管理技術に気付いた企業」がDXに成功する。 ③実企業の全業務を「業務フローチャート」で学びます。 ④DXの前と後を実際例でデジタル技術を学びます。 ⑤やる気のある日本人6%、標準品は数十万点と変化した日本！だから業務再構築（BPR）は必須。 ⑥受注/出荷から業務知識を学びます。 ⑦生産計画・製造計画・購入計画を学びます。</p>
2 回 目	<p>DX推進のための業務知識とデジタル技術習得</p> <p>①工程管理&業務間連携とデジタル技術概要 ②購買外注業務&業務間連携とデジタル技術概要 ③在庫業務&業務間連携とデジタル技術概要 ④品質業務&業務間連携とデジタル技術概要</p>	<p>①工程管理が出来ている企業は、10%以下です。 ②購買外注担当が、本来は「購買技術者」です。 ③でもなぜ日本では、購買外注担当者は「走り屋」なのか？ ④在庫業務は9割以上は他のシステムからの連携データ ⑤品質管理の欠陥で倒産する企業。なぜ？</p>
3 回 目	<p>DX推進のための業務知識とデジタル技術習得</p> <p>①原価計算&業務間連携とデジタル技術概要 ②BOM(部品表)&業務間連携とデジタル技術概要</p>	<p>①原価管理の業務知識と業務間連携 (数量は周辺業務から、単価は原価業務から求めます) ②1971年以降、BOMの定義が変わった！ 材料表から工程手順を含んだ部品表へ</p>

受講対象者 ・ITベンダSE、営業担当者、情シス担当者 ・実務経験1年以上
受講形態 : ZOOM同時双方向型講座 (定員10名)
受講料 : 100,000円(税別)/人 (申請により受講料の助成がされます。添付P2ご参照)
 中小企業は **受講料の54%の助成金 (実質受講料 50,900円)**
 大企業は **受講料の34%の助成金 (実質受講料 72,200円)**
申込締切日 : 2026年3月19日(木曜日) (助成金締切日)



お申込みはこちら

<https://kan-lab.com/contact-gyomu>

または、メール「asguide@kan-lab.com」宛に申込可能です

また、FAXでお申込みの場合は、必要事項をご記入の上、「0798-55-8779」へFAX送信ください。
なお、誠に勝手ながら満席になり次第、申込を締め切らせていただきますので、ぜひお早めにお申し込みください。
申込締切日 2026年3月19日(木)

参加ご希望記入欄

貴社名(必須)	ふりがな		
ご住所(必須)			
TEL(必須)		FAX	
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			

【お客様の個人情報の用目的】

お客様がご記入頂きました個人情報は、本セミナー資料・受講票の送付および、弊社セミナーのご案内送付以外に使用いたしません。

また、第三者にこれを開示することはいたしません。

お客様が記載された情報は、(株)管理技術ラボの個人情報保護ポリシー(<http://www.kan-lab.com/policy.html>)に基づき、適切に管理いたします。

同意する

[本講座の特徴] オンライン同時双方向型セミナー

「実際原価」は
ウソの原価です！



受講者の熱意にお応えします！(補講)

- ・希望者への復習の実施 落ちこぼれZERO！
- ・受講者の希望に応じて休日・深夜補講対応します

ライブで質疑！ライブで演習の進捗指導！

- ・講義中に課題の進捗をチェックし、お声を掛けます

聞きのがした講義はいつでも視聴可能

- ・聞きのがした講義は、ホームページから再生可能

「質問シート」は、あなたの一生のメモ

- ・受講者の質問履歴、回答履歴は永久検索
- ・受講後も1年間の質問・助言を受け記録できます

大先輩SEからの助言

- ・今回の講師が1年間、ご質問に助言します
- ・必要に応じてZOOMでの面談も可能です

毎回受講者が抱える課題を解決

- ・受講者が抱える課題を講師に問い掛け、講師は解決BPR事例(700社)から解決策を提示します

CHECK 参考HP: [厚生労働省「人材育成支援コース」「事業展開等リスクリング支援コース」](#) 不明点はお気軽に

お問い合わせください

- ①「人材育成支援コース」 : 社員の既存業務のスキルアップや社員研修を充実させる為の研修
- ②「事業展開等リスクリング支援コース」 : 新規事業の立ち上げ等の事業転換に伴う人材育成業務効率化に取り組むデジタルに対応した人材育成

※P1の「実質受講料」は、①項を申請した場合の受講料です。②項の場合は実質受講料が下がります。